

環境省環境研究総合推進費  
戦略的研究プロジェクト S-10 公開シンポジウム

地球温暖化対策の長期目標を考える

# パリ協定の 「1.5℃」、「2℃」目標に どう向き合うか？

2016 年 11 月 21 日（月）



14:00～17:00（13:30 開場）  
東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール

主催：環境省環境研究総合推進費戦略的研究プロジェクト S-10  
（地球規模の気候変動リスク管理戦略の構築に関する総合的研究）

共催：国立研究開発法人国立環境研究所

● 開会挨拶 竹本明生（環境省地球環境局研究調査室・室長）

● 第一部：講演

「パリ協定の長期目標をどうとらえるか？－ICA-RUS プロジェクトの成果より」

江守 正多（国立環境研究所）

「今世紀の排出が 1000 年先の未来を決める－ティッピングとは何か？」

鼎 信次郎（東京工業大学・教授）

「大規模緩和策は何をもたらすか？－ネガティブエミッション／気候工学の波及効果」

森 俊介（東京理科大学・教授）

「国際合意と社会的合理性：目標選択における社会の判断」

藤垣 裕子（東京大学・教授）

● 第二部：パネルディスカッション 滝 順一（株式会社日本経済新聞社）・第一部講演者

お問い合わせ

シンポジウム事務局（株式会社プライムインターナショナル内）

TEL：03-6277-0117 FAX：03-6277-0118 E-mail：s10\_2016@pco-prime.com

参加お申込み、最新情報は下記

Web サイトから。

<http://www.pco-prime.com/S-10/>

